

# 街路樹

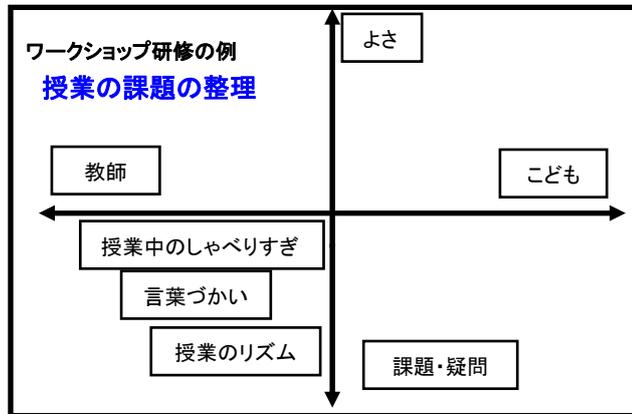
## 学力向上に向けて ⑨

### 〈自己目標達成のための研修の生かし方〉

学力向上のためには何といっても私たち教員の授業力を高める必要があります。そのため、日々研鑽を積んでいるのですが、研修を機会で大きく分けると4つに分けることができます。校内研修(OJT=On the Job Training)、総合教育センターの研修等(OffJT=Off the Job Training)、自主研修(SD=Self Development・HD=Home Deveroo ment)で、これらは相互補完し合うものです。

#### 1. 校内研修(OJT)

最近の校内授業研修会では、付箋紙を用いたワークショップ型のものが多くあります。この研修の効果としては、共同性の高まり・個人知の共有・具体性があげられます。



#### 2. 総合教育センターの研修等(OffJT)

3学期に総合教育センターでは、授業力向上講座(国語2月5日、算数・数学1月29日、理科1月31日、図工・美術2月7日、特別支援教育2月12日)、教育実践研究発表大会(2月2日)等を計画しています。まだ、申し込み可能な講座もありますので、参加について総合教育センターに問い合わせをしてください。

また、内容を校内で伝達し、共有化を図っていただくことが、学校全体の授業力向上につながると思います。

#### 3. 自主研修(SD・HD)

最近では、ICT(情報通信技術 Information and Communication Technology)やe-Learningという考えが、進歩しています。教育情報ナショナルセンター(NICER)でも、教科ごとに多くの内容があります。また、研究発表会が週末開催で、自主参加しやすいものもあります。さらに、個人の課題に対応するために、センターでは個人研修を受け入れています。

自宅での研修もさることながら、この4種類の研修を組み合わせることにより授業力向上、そして児童・生徒の学力向上につながればと考えております。

## 指導技術 ⑧

### ～よい授業を求めて～

「よい授業」というのは、どこか遠くにあって、誰かの授業のことをいうわけではありません。「よい授業」は全ての子どもと先生のものでなければならぬし、今現在、目の前に展開されなければならないものです。

また、誰かの「よい授業」を参考にすることはあっても、違う指導者どおしの二つの授業を比べて、どちらが優れていたかなど、比較評価しても仕方ないことです。一人一人の先生には、その先生ならではの持ち味があり、それが授業に表れてくるものです。それを大切にして「よい授業」を求めていくことが、その先生らしい授業づくりのスタートです。

先生の個性から先生の創意が生まれ、それが言葉になり、準備のよさになり、展開のうまさになり、確かめやまとめのうまさとなって現れます。そして何よりも「よい授業」づくりのために最も大切なことは、先生の健康や明るさが重要になります。

「よい授業」を進める先生は、子どもたちをよく知り、よく見えています。そして、指導に“喜び”をもち、意欲的です。先生のこの意欲は、先生の興味と自信で保たれ、燃え上がっているものでしょう。

深い喜びをもって「よい授業」を進めるために、先生は、子ども一人一人を熟知し、「よい授業」づくりを工夫することが必要です。

そして、いま進めている部分的な指導が、全体的な指導とどうつながっているかなど指導上のバランスを常に把握することも忘れてはいけません。

## 「子ども健康教育相談」からのお知らせ

「子ども健康教育相談」がスタートしてから4年目を迎え、相談件数も毎年、増加傾向にあります。

特別な支援(心身の発達)が必要な児童生徒、不登校等の問題を抱える児童生徒や教職員を対象とした来所相談にに応じています。

昨年12月17日から今年3月28日まで、総合教育センターの教育相談室が工事に入りますので、その間の相談業務を「いわき市総合保健福祉センター2Fの第3相談室」で面接相談することになりましたのでお知らせします。受付はこれまで通り、総合教育センター(電話22-3705)で受付を行います。

## 研修の感想紹介

### 初任者研修「自然体験研修」

- 2日間、子どもたちと生活していて、普段の学級の子どもの様子を凝縮したものを見たようであった。集団とはつくられるものなのだと改めて感じた。子どもたちにとって居心地のよい学級であるために、子どものよさを誉め続け認めることのできる担任でありたい。(小・W)
- 子どもたちなりに考え、実際にやってみてそれがうまくいくと、大きな自信となることが分かった。子どもたちが自分の力で考えて、知恵を出させる経験を大切にしていきたいと思った。(小・W)
- 今回の自然体験研修の中で、一番印象に残ったことは『見守る』ということです。「何でも手を出すのではなく、見守ることも大切」というお話がありました。見守るためには、自分たちで出来るように教えるくはいけないこともあるし、自分たちで考えさせる問かけをし、子どもたちの力で解決していかなくてはいけないこともあったと思いました。(小・W)

### 企業体験研修

- 初めて一般企業の仕事を体験し、私達が快適に買い物をする事ができる背景には、お店で働く方のお客様に対する心遣いや細かな配慮があるのだということを感じた。(小・W)
- 学校には教育目標という目標があります。その目標達成のために全教職員が一丸となること、そして、その一時間で学ばせたい、身につけさせたい内容をどうやって身につけさせるか、様々な工夫と努力を重ね、今回の研修で学んだことをこれからの教育活動で、ぜひ実践していきたいです。(小・M)
- 確かに業種は違いますが、企業はお客様の為に、私たち教員は子どもたち、そして保護者の方々の為に、最善を尽くすことは同じだと思いました。(小・W)
- 見ようとしなければ見えないところまで想像して感じとり行動する。このような能力はどの仕事にも必要とされているのだと実感した。(小・W)